

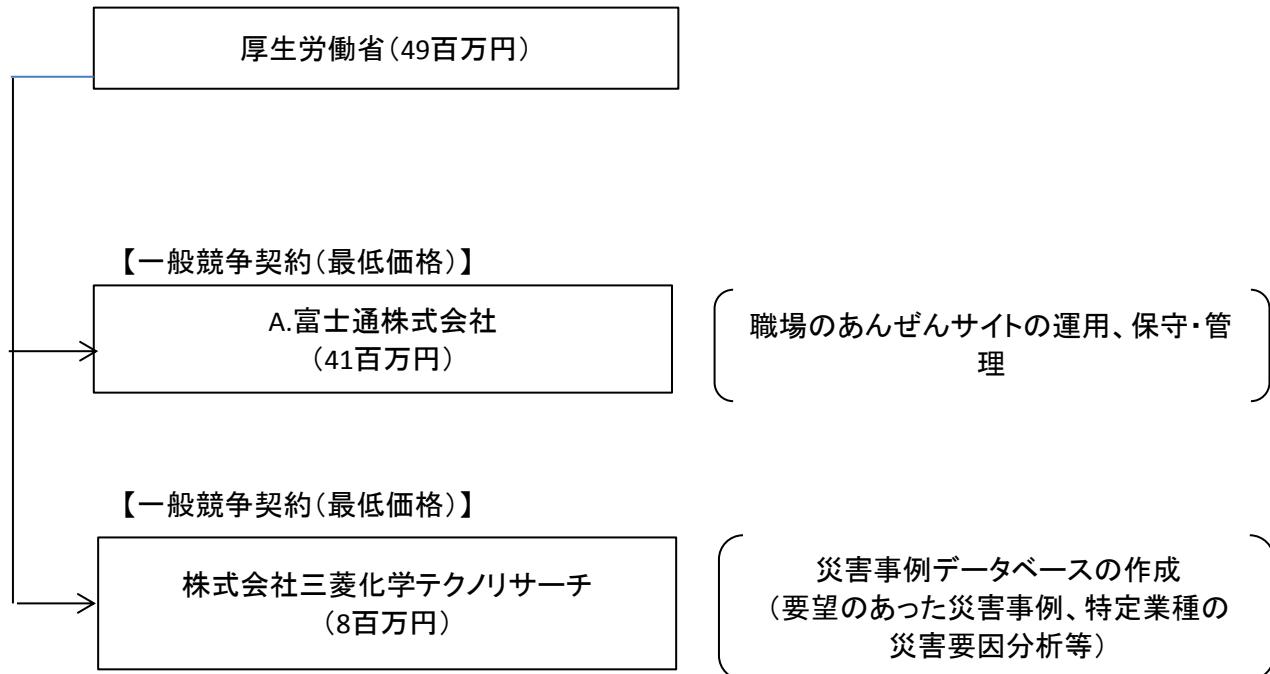
平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	職場の安全衛生情報の周知・意識啓発事業			担当部局	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	安全課		井上 仁		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項			関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	事業場が自主的に安全衛生対策に取り組めるよう災害統計や過去の災害事例等必要な情報を提供し、また、既に自主的な対応を進めている事業場の参考を得て、安全対策や活動の実例を業種や企業を超えて共有化することにより、事業場の安全意識を高める。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	事業場の自主的な安全衛生対策を推進する災害統計、災害・ヒヤリハット事例、化学物質情報等のコンテンツを作成して、「職場のあんせんサイト」に掲載することで、事業場の安全意識の醸成を図る。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	51	51	53	53		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	51	51	53	53		
	平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	執行額	0	50	49				
		執行率 (%)	-	98%	96%				
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	98%	96%				
歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求		主な増減理由				
労働災害防止対策事業委託費	53	53		-					
計	53	53							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	'職場のあんせんサイト'へのアクセス件数1,400万件以上とする。	アクセス件数	成果実績	万件	-	1,651	3,487	-	-
			目標値	万件	-	1,400	1,400	-	1,400
			達成度	%	-	117.9	249.1	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	本事業の実施結果報告書								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	災害情報コンテンツの満足度(アンケート)調査において80%以上からサイトが有用であった旨の回答を得る。	満足度(アンケート)調査において、サイトが有用であったという回答を得た割合	成果実績	%	-	81.2	81.6	-	-
			目標値	%	-	80	80	-	80
			達成度	%	-	101.5	102	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	本事業の実施結果報告書								

活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
		活動実績	件								
活動指標及び活動実績(アウトプット)		各種災害データベースの作成		当初見込み	件	-	30,000	30,000			
		要望のあった業種の災害事例等の作成		活動実績	事例	-	60	61	-		
単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
		単位当たりコスト = X ÷ Y X:「執行額」 Y:「アクセス件数」		単位当たりコスト	円/件	-	3	1.4	1.5		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること									
	施策	労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること(施策目標Ⅲ-2-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		1 労働災害による死亡者数		実績値	人	1,057	972	928	-		
				目標値	人	-	-	-	-		
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		2 労働災害による死傷者数(休業4日以上)		実績値	人	119,535	116,311	117,910	-		
				目標値	人	-	-	-	101,639		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	職場の危険性や有害性を認識する上で有用な情報となる他の事業場の災害事例や改善方策、危険箇所の「見える化」などの好事例をホームページで提供する。これにより測定指標1及び2に寄与すると見込んでいる。										
	改革項目 (第一階層) アクション・財政再生成プログラムとの関係	改革項目	分野:	-							
		KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度		
					成果実績	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-		
					達成度	%	-	-	-		
		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度		
					成果実績	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-		
					達成度	%	-	-	-		
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
国費投入の必要性	事業所管部局による点検・改善										
	項目				評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	事業場の安全対策を進める上で、中小事業場をはじめ安全対策に向けただけの経営資源に乏しく、専門人材の確保が難しい事業場にあっては、国に対する支援のニーズが大きく、国費を投入しなければ事業目的は達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	労働安全衛生法においては、労働災害を防止するために事業者が行う活動に対し、国が技術上の援助に努めている。なお、安全対策は、生産設備への投資と異なり、直接的に生産性の向上につながるものではなく、事業者として積極的な投資が難しいことから、民間等に委ねるだけでは進まない。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	第12次労働災害防止計画では、労働災害の15%以上減が目標とされ、事業場における自主的な災害防止対策の事例等を情報提供することが重点的な対策として位置づけられていることから、本事業の優先度は高い。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	<input checked="" type="radio"/>	一般競争入札(最低価格落札方式)により選定しており、妥当である。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	<input type="radio"/>						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	<input type="radio"/>						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	<input checked="" type="radio"/>	本事業は労働災害の防止のため、事業者に対し支援を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	<input checked="" type="radio"/>	サイトの運用等を行うものとして妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	<input checked="" type="radio"/>	サイトの運用等に必要な経費などの真に必要なものに限定されている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	<input checked="" type="radio"/>	成果実績は目標を達成している。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。	<input checked="" type="radio"/>	パンフレットの配布やメディアへの広告等が考えられるが、HPの活用のように災害事例や改善事例等をタイムリーに提供することはできず、事業場が必要なときに簡便かつ容易に情報にアクセスすることもできないことから、本事業の方が利便性、効率性に優れると考えている。					
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	<input checked="" type="radio"/>	活動実績は当初の見込みを上回っている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<input checked="" type="radio"/>	死亡災害データベースやヒヤリハット事例等の成果物については、「職場のあんぜんサイト」で広く周知を図っている。					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-					
点検・改善結果	所管府省名	事業番号	事業名					
		-	-					
		-	-					
点検結果		第12次労働災害防止計画の目標(労働災害の15%以上の減少)を達成するには、事業場が自主的に安全衛生対策に取り組むよう必要な情報を提供することが重要であるところ、本事業は、成果目標、活動指標を達成しており、引き続き本事業を実施する。						
改善の方向性		事業の効率化に努めつつ、必要な予算要求を行う。						
外部有識者の所見								
点検対象外								
行政事業レビュー推進チームの所見								
現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。							
備考								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-			
平成25年度	-	平成26年度	新27-022	平成27年度	新27-0018			
平成28年度	427							

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）	A.富士通株式会社			B.株式会社三菱化学テクノリサーチ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	データセンターサービス、サイトの開設・運用等	38	事業費	人件費、データ入力、専門家による確認・助言、イラスト作成費	6.7
	消費税		3	管理諸経費	人件費、データ入力、専門家による確認・助言、イラスト作成費	0.7
				消費税		0.6
計			41	計		8

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百億円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つ た 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	富士通株式会社	1020001071491	職場のあんぜんサイトの運用、保守・管理	41	一般競争契約 (最低価格)	2	98.7%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百 万 円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応 募 者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	株式会社三菱化学 テクノリサーチ	5010001022137	災害事例データベースの 作成	8	一般競争契約 (最低価格)	2	78.7%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト